

2018
SENDAI座
Project

十二人の怒れる男

作レジナルド・ローズ

翻訳・演出 宮島春彦



TWELVE ANGRY MEN

SENDAIZA PROJECT PRESENTS

ピッコロシアター開館40周年記念

ピッコロシアター鑑賞劇場

2018年 **11月9日**(金) 19:00 / **10日**(土) 14:00 / **11日**(日) 14:00 **ピッコロシアター** 中ホール

8/9(木)
発売開始

<自由席 前売当日共> 一般 **4,000円** (割引) シニア・3,500円 U24・2,200円 高校生以下・1,200円 *未就学児のご入場はご遠慮ください

主催=兵庫県立尼崎青少年創造劇場/SENDAI座☆プロジェクト

【お問い合わせ】 **ピッコロシアター** 06-6426-1940 / SENDAI座☆プロジェクト 022-399-8057

STORY

真夏の暑い午後、見知らぬ男十二人が一室に集められた。彼らには、劣悪な環境で育ち非行歴のある一人の少年の「命」が委ねられていた。有罪を宣告されると少年は、電気椅子に送られてしまう。現場に残されていたナイフと決定的な目撃証言。誰もが有罪を信じて疑わなかった。しかし一人の陪審員が無罪を主張した事により、事態は思わぬ方向へ…

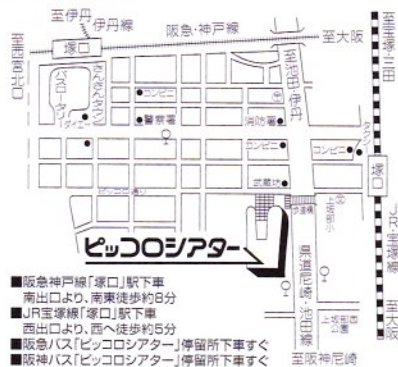
2018年
11月 9日(金) 19:00
10日(土) 14:00
11日(日) 14:00

ピッコロシアター
中ホール

*10日(土)終演後アフタートーク有 ゲスト=内藤裕敬氏(南河内万歳一座座長)

8/9(木)発売開始 開場は開演の15分前
整理券を開演の1時間前から配布します

<自由席> *前売・当日共通 *消費税込
一般 4,000円 *ピッコロサポートクラブ会員 3,600円
(割引 チケット) 当日整理券配布時に、年齢のわかる物のご提示をお願いします
シニア・65歳以上 3,500円 / U24 2,200円 / 高校生以下 1,200円
*未就学児のご入場はご遠慮ください



ピッコロシアター 〒661-0012 兵庫県尼崎市南塚口町3-17-8
<http://hyogo-arts.or.jp/piccolo>

【ピッコロシアター公演 チケット取扱い】

- ピッコロシアター 06-6426-1940 月曜休館、祝日の場合は翌日
- チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード 486-892]
- ローソンチケット 0570-084-005 [Lコード 56030]

【ツアースケジュール】

東京：8/ 8(水)~12(日) 座・高円寺1
宮城：8/29(水)~9/2(日) エルパーク仙台ギャラリーホール
福島：9/22(土)・23(日) 白河文化交流館コミネス・小ホール
山形：10/13(土)・14(日) 川西町ブレンドリープラザ大ホール
兵庫：11/ 9(金)~11(日) ピッコロシアター中ホール

	東京					宮城					福島		山形		兵庫			
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
14:00																		
18:00																		
19:00	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

【全公演チケット取扱い】

- SENDAI座☆プロジェクト
- 予約WEBサイト <http://www.sendaiza.jp>

QRコード
からもアクセス
できます!



【総問い合わせ】SENDAI座☆オフィス

TEL 090-3006-1004 (直通) Mail info@sendaiza.jp
〒980-0821 宮城県仙台市青葉区春日町 6-1-207 TEL・FAX 022-399-8057



文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
独立行政法人日本芸術文化振興会

来年の予定

「鳴子温泉郷物語～タルタルスの足湯」

東京公演 / 2019年8月7日(水)～11日(日)予定。仙台、東北地域でも上演。

十二人の

怒れる男

作 レジナルド・ローズ
翻訳・演出 宮島春彦

現場に残されていたナイフと
決定的な目撃証言。

誰もが有罪を信じて
疑わなかった。

CAST



樋渡宏嗣 渡部ギユウ 戸石みつる 松崎太郎



古川 孝 (川西町演劇研究会) わたなべひでお (仙台シアターラボ) 野々下 孝 (仙台シアターラボ) 原西忠佑



飯沼由和 (言言) 佐藤隆太 (シア・トリエ) 加藤 隆 (劇団 短距離男道ミサイル) 前田成貴



木立 圭

STAFF

舞台プラン/島次郎 舞台監督/渡邊英夫 音楽/猪狩太志
照明/松崎太郎 音響/本義 拓 (キーウィ サウンドワークス)
情宣デザイン/菅原孝行 写真/大沼英樹 題字/日野 薫
演出助手/千葉里子 熊谷有夏 制作統括/渡部ギユウ
後援・助成/仙台市 (公財) 仙台市市民文化事業団
協賛/(株) 飛梅 和菜処いらえ
後援/杉並区
提携/NPO法人劇場創造ネットワーク/座・高円寺
協力/仙台シアターラボ 劇団 短距離男道ミサイル シア・トリエ
主催・企画・制作/一般社団法人 SENDAI座プロジェクト

SENDAI座☆プロジェクトとは…

仙台のど真ん中に「劇場」をつくるんだ！を合言葉に、2007年樋渡宏嗣、渡部ギユウが中心となり結成したカンパニー。地域演劇の育成事業として「俳優養成所」「声優塾」「朗読倶楽部」「演劇倶楽部」がある。07年「High Life」。08年「女中たちのポレロ」。09年「マクベス～マクベスはサイレンの音を聴いたか」10年「明日に向かって歌え！アтелиキャラバン西に向かう」。11年「十二人の怒れる男」。12年「ハイライフ」13年「僕たちの好きだった革命」「鳴子温泉郷物語タルタルスの足湯」。14年「十二人の怒れる男」。15年「洗い屋稼業」。16年「エルドラド ホテルアメリカーナ」、17年「白墨の輪」などの作品を南東北、尼崎、名古屋、広島、東京などで公演を行ってきた。ちょっと大人な作品づくりをテーマにしている。